

# 第1学年 特別の教科 道徳 学習指導略案

令和3年6月12日(土) 2時間目

1年 1組

児童数 28名

授業者 入戸野 小絵美

1 主題名 「友達っていいな」 友情、信頼 (B 主として人との関わりに関すること)

2 資料名 「こころ はっば」(東京書籍 あたらしい どうとく)

3 ねらい 友達とすすんで関わり、仲よくしようとする心情を育てる。

## 4 授業の流れ

	◆学習活動(○主な発問 ・予想される児童の反応)	・指導上の留意点 ☆評価
導入	<p>◆小学校に入学して、どのように友達ができたか思い出し、発表する。</p> <p>○小学校に入学して、どうやって新しい友達ができましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・隣の席の子に自分から声を掛けた。</li> <li>・「いっしょに遊ぼう。」と誘ってもらった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時のねらいに関わる生活体験を想起して、学習への導入とする。</li> </ul>
展開	<p>◆「こころはっば」を読んで話し合う。</p> <p>○いのししくんは、どんなことを思いながら「ともだち、ほしいなあ。」と言ったのでしょうか。そのとき、こころはっばは、どんな色に変わったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人で寂しいな。</li> <li>・友だちできるかな。</li> </ul> <p>○3匹は、どんなことを思って「ともだちになって。」と言ったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かわいそうだな。</li> <li>・いっしょに遊んだら、もっと楽しくなるかも。</li> </ul> <p>○いのししくんは「どっすんどっすん」飛び跳ねたとき、どんなことを思ったのでしょうか。そのとき、こころはっばは、どんな色に変わったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・うれしいな。</li> <li>・何して遊ぼうか。楽しいね。</li> </ul> <p>◎飛んでいくこころはっばを追いかけてながら、みんなはどんなことを思ったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちがいるといいなあ。</li> <li>・みんなで遊ぶと楽しいなあ。</li> <li>・声を掛けて、友だちになれてよかったな。</li> </ul> <p>◆友達がいてよかったと思う経験を話し合う。</p> <p>○友達がいてよかった、うれしいなと思うのはどんなときですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・休み時間にいっしょに遊ぶとき。</li> <li>・泣いていたなら、なぐさめてもらったとき。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こころはっばに色をつける。その際、いのししくんのどんな気持ちを表現したかったのかを児童に問う。</li> <li>・「3匹は木の上でどんなことを相談したのかな。」などの補助発問も考えられる。</li> <li>・3匹といのししくんのやりとりを役割演技によって表現し、考えを深める。</li> <li>・こころはっばの色がどんな色に変わったか考えて色をつけるようにする。</li> <li>・友だちになれた、そのきっかけを作った3匹の優しい声掛けにもう一度着目する。</li> <li>☆友だちになれた4匹の明るい気持ちを十分に考えることができたか。</li> <li>☆友だちがいることのよさを実感し、友だちとすすんで関わって仲よくしていこうとする気持ちが高まったか。</li> </ul>
終末	<p>◆教師の説話を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分からすすんで友だちに関わろうとする気持ちが大切であることを押さえる。</li> </ul>

# 第1学年 特別の教科 道徳 学習指導略案

令和3年6月12日（土） 2時間目

1年2組

児童数 28名

授業者 山 浦 悠

1 主題名 「みんなに同じように」 公正、公平、社会主義（C 主として集団や社会との関わりに関すること）

2 資料名 「みんな いっしょ」（東京書籍 あたらしい どうとく）

3 ねらい 自分の好き嫌いとらわれず、みんなに同じように接しようとする心情を育てる。

## 4 授業の流れ

	◆学習活動（○主な発問 ・予想される児童の反応）	・指導上の留意点 ☆評価
導入	<p>◆遊んでいるときの様子について話し合う。</p> <p>○みなさんは、友達とどのように遊んでいますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジャングルジムで遊んでいる。</li> <li>・友達と鬼ごっこをして遊んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の日常から、遊んでいるときの様子を想起する。</li> </ul>
展開	<p>◆「みんな いっしょに」を読んで話し合う。</p> <p>○この絵を見て、何か気づいたことはありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなで「どんじゃんけん」して遊んでいる。</li> <li>・入りたそうな子がいる。</li> <li>・困っている子がいる。</li> </ul> <p>○遊んでいる子の中に、困った顔の子がいます。どんなことを思っているのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仲間に入れたくないな。</li> <li>・人数が合わなくなってしまう。</li> </ul> <p>○外で見ている子は、どんな気持ちだと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仲間に入れて欲しいな。</li> <li>・声を掛ける勇気が出ないな。</li> </ul> <p>◎みんなで仲よく遊ぶために大切なことはどんなことだと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「いれて。」と言われたら「いいよ。」と言ってあげる。</li> <li>・「いっしょに遊ぼう」って言ってあげる。</li> <li>・みんなで仲よく遊ぶ。</li> </ul> <p>◆今までの自分について振り返る。</p> <p>○あなたは友達に対して、みんなに同じように声をかけたり、仲よくしたりしたことはありますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挿絵を見ながら、どのような子がいるかを全体で簡単に確認する。そして、絵の中の子供の表情や動きについて気付いたことを発表する。</li> <li>・「なぜ、気になったのですか。」と問いかけ、その理由も全体で共有する。</li> <li>・仲間に入れることに戸惑う気持ちを考える。そして、「人数が増えることによって自分たちの遊びがたのしくなくなってしまう。」という自己中心的な考え方を押さえる。</li> <li>・入りたくてもなかなか言い出せない気持ちを考えるようにする。</li> <li>・なぜ大切なのかというその思いについても考えられるようにしたい。</li> </ul> <p>☆みんなで仲よく遊ぶために大切なことについて話し合っていたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遊びをはじめ、そのほかの日常生活の場面にも振り返りを広げる。</li> </ul> <p>☆みんなに同じように接することの大切さに気付き、自己を振り返ることができたか。</p>
終末	<p>◆教師の説話を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊びに偏らず、日常生活の場面での体験談を話すことで、更に考える視点を広げて終わらせる。</li> </ul>

# 第1学年 道徳学習指導略案

令和3年6月12日(土) 2時間目

1年3組

児童数 28名

授業者 堀 金 恋

- 1 主題名 「みんなに同じように」 公正、公平、社会主義(C 主として集団や社会との関わりに関すること)
- 2 資料名 「みんな いっしょ」(東京書籍 あたらしい どうとく)
- 3 ねらい 自分の好き嫌いにとらわれず、みんなに同じように接しようとする心情を育てる。
- 4 授業の流れ

	◆学習活動(○主な発問 ・予想される児童の反応)	・指導上の留意点 ☆評価
導入	<p>◆遊んでいるときの様子について話し合う。</p> <p>○みなさんは、友達とどのように遊んでいますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鬼ごっこで遊んでいる。</li> <li>・6年生が遊んでくれた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の日常から、遊んでいるときの様子を想起する。</li> </ul>
展開	<p>◆「みんな いっしょに」を読んで話し合う。</p> <p>○この絵を見て、何か気づいたことはありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなでじゃんけんをして遊んでいる。</li> <li>・困っている子がいる。</li> </ul> <p>○遊んでいる子の中に、困った顔の子がいます。どんなことを思っているのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いれてあげたくないな。</li> <li>・人数が合わなくなっちゃう。</li> </ul> <p>○外で見ている子は、どんな気持ちだと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一緒に遊びたいな。いいな。</li> <li>・ぼくも入れてって言おうかなあ。</li> </ul> <p>◎みんなで仲よく遊ぶために大切なことはどんなことだと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「いれて。」って言われたら、「いいよ。」って言ってあげる。</li> <li>・「いっしょに遊ぼう」って言ってあげる。</li> <li>・みんなで仲よく遊ぶ。</li> </ul> <p>◆今までの自分について振り返る。</p> <p>○あなたは友達に対して、みんなに同じように声をかけたり、仲よくしたりしたことはありますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挿絵を見ながら、どのような子がいるかを全体で簡単に確認する。そして、絵の中の子供の表情や動きについて気付いたことを発表する。</li> <li>・「なぜ、気になったのですか。」と問いかけ、その理由も全体で共有する。</li> <li>・仲間に入れることに戸惑う気持ちを考える。そして、「人数が増えることによって自分たちの遊びがたのしくなくなってしまう。」という自己中心的な考え方を押さえる。</li> <li>・入りたくてもなかなか言い出せない気持ちを考えるようにする。</li> </ul> <p>・なぜ大切なのかというその思いについても考えられるようにしたい。</p> <p>☆みんなで仲よく遊ぶために大切なことについて話し合っていたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遊びをはじめ、そのほかの日常生活の場面にも振り返りを広げる。</li> </ul> <p>☆みんなに同じように接することの大切さに気付き、自己を振り返ることができたか。</p>
終末	<p>◆教師の説話を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊びに偏らず、日常生活の場面での体験談を話すことで、更に考える視点を広げて終わらせる。</li> </ul>